

ユニオンスクール第9期第2回学習会

時間外労働等で活発な意見交換

次代を担う活動家・役員の育成と職場労働組合活動の活性化を目的として行われている「ユニオンスクール渡島」第9期・第2回学習会が、5月26日13:30より、函館市内パークホテルにおいて行われた。

2月の第1回学習会に引き続き、連合北海道・千田組織対策局次長を講師に招いて進められた今回は、グループワークその1として「連合カルタで遊んで学ぼう<断交バージョン>」と題した、グループ作業中心の講座。

簡単に考えていたものの、いざ始めると結構難しく、四苦八苦しながらもグループ内で協力して回答を見いだしても、答え合わせで食い違って説明を行ったりと、予定していた時間を超えて第1課題を終えた。

第2課題は予定を変えて「労働ガイドブック」を参考にした各課題の意識あわせが行われ、北海道における労働の状況や労働の基礎知識について学びあった。



とりわけ、労働条件・年次有給休暇の課題について質問・意見が出され、職場環境や条件によって大きな隔たりが発生したり、時期によっては大幅な時間外労働(80時間超)の実態があるなどの報告もあり、全体で活発な意見交換が行われ、今後に向けて実態の把握と労働組合との相談が極めて重要であることが確認試合、今回の学習会を終えた。

今回は、8月に閉校式を兼ねた第3回学習会を行うこととなり、渡島地域協議会の名物となった「模擬団体交渉」を通じて、職場における労使間における営みの重要性を学びあうこととなる。

